

かきょう 毎日佳境。一日一日を楽しむ心。

しみずひあん たかはし ししゅつしん  
 清水比庵は、高梁市出身の歌人です。

おさない ころ 幼い頃から短歌に親しみ、92歳で亡くなるまで研鑽を続けました。独自の書と画で表現した歌は、三位一体の比庵芸術として独自の境地を切り開きました。

ばんねん さいのう 晩年にその才能を開花させ、84歳で宮中歌会始の儀の召人に選ばれました。また87歳の時には「いま良寛」として名を知られるようになり、高梁市名誉市民にも推戴されています。その作品は、日常の風景を印象的に捉えたもので、親しみやすく情緒豊かで、今なお多くの人々に愛されています。

### ◆ 施設のおすすめ

ぎょうせき けんしやう 清水比庵記念室は、清水比庵の業績を顕彰し、その作品に触れていただくため、平成16年に設置しました。

ばんねん 年間を通して、比庵の初期から晩年にいたる作品約20点を展示するほか、自室をイメージした「歌境の間」を設けています。作品のほか、比庵が使用していたスケッチブックや道具類、陶器に絵付けした作品や、木彫になった作品など、様々な角度から清水比庵という人を紹介できるように展示を行っています。

### ◆ 子どもたちへのメッセージ

しみずひあん 清水比庵は、日々の生活の中から美しいもの、楽しいものを見つけることが得意でした。とれたての野菜、雨の朝、庭に遊ぶ動物達、何気ない日常にもたくさんの感動を見つけることができます。

さい 見学の際は、比庵の歌を口ずさんで読んでみてください。口に出して読むことで、短歌の面白さが伝わり、比庵が伝えたかった風景が見えてくるかもしれませんよ。



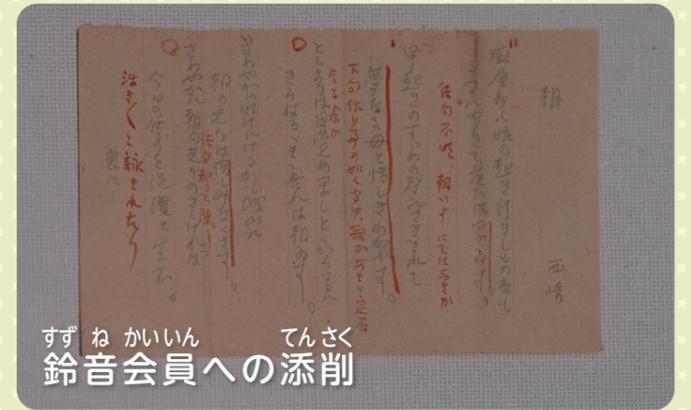
しみずひあん 清水比庵



てんじしつ 展示室



すずねかい 鈴音会



すずねかい 鈴音会 添削 会員への



はいく 俳句



ひあんひつ 比庵筆「柿」



ひあんひつ 比庵筆「虎」



かきょう 歌境の間